

気管挿管の姿勢

傷病者の体位
 処置者の体位・姿勢

気管挿管と姿勢・体位


傷病者の体位

- ・仰臥位
- ・座位

処置者の姿勢

- ・立位
- ・正座位
- ・立て膝位
- ・開脚座位
- ・座席座位
- ・中腰位
- ・腹這い位

* 頭部に配置不能
* 特殊な空間
* 救急車内



テキスト:p46・写真2-11

座位での気管内挿管









各種気道確保方法

- ### 気管と食道の特長
- 気管
 - U字型の軟骨(背側(食道側)が欠損)がある
 - 常に一定の空間を維持している
 - 平均内径:成人16.5mm 新生児5mm
 - 気管挿管チューブ:硬い材質
 - 食道
 - 軟骨などの硬い支持組織がない
 - 食物の大きさにどうにでも対応できる
 - 食物が通らない時は、内腔はつぶれている
 - 食道挿入チューブ:軟らかく、先端が鈍な材質

用手気道確保

気道確保1

1. 用手気道確保

- ① 頭部後屈あご先挙上法
- ② 下顎挙上

2. 器具を用いた気道確保

- A) 気道に管を入れる
 - a. 先端が喉頭・・・エアウェイ(経鼻・経口)
LMA (ラリソゲアルマスクエアウェイ)
 - b. 先端が気管・・・気管挿管(経鼻・経口)
気管切開、輪状甲状間膜穿刺・切開
- B) 食道に管を入れる

気道確保2

1. 用手気道確保

- ① 頭部後屈あご先挙上法
- ② 下顎挙上

2. 器具を用いた気道確保

- A) 気道に管を入れる
 - a. 先端が喉頭・・・エアウェイ(経鼻・経口)
LMA (ラリソゲアルマスクエアウェイ)
 - b. 先端が気管・・・気管挿管(経鼻・経口)
気管切開、輪状甲状間膜穿刺・切開
- B) 食道に管を入れる

気道確保3

1. 用手気道確保

2. 器具を用いた気道確保

- A) 気道に管を入れる
- B) 食道に管を入れる
 - a. EGTA :
esophageal(食道) gastric(胃) tracheal(気管) airway
 - b. EOA : esophageal obstructive(閉鎖) airway
W-B tube
LI
 - c. コンビチューブ : esophageal tracheal combitube
2way tube

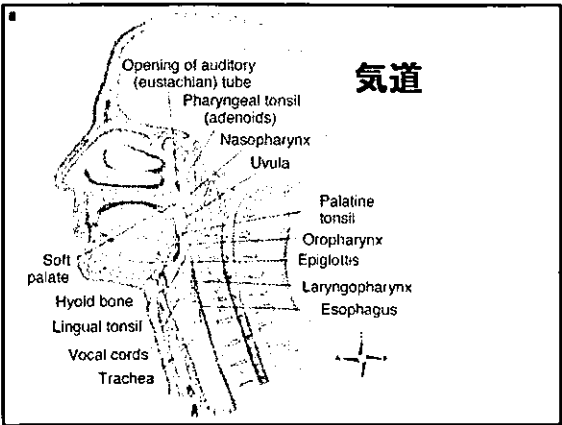
器具の名称	ETA	1号 Labe Dca	L1	2号 Labe コンピテューブ	LMS	検査番号 (既設機器)																					
挿入部径	φ					φ、φ(既設)																					
筒径が挿入される部径	直径					径																					
挿入時の部径	中間径	中間径	中間径	中間径	中間径	既設部径																					
テューブを挿入する際の寸法	1	1	1	2	1	1																					
長さ(両端)カフ	あり	あり	あり	あり	なし	なし																					
質量(挿入時)	4-30kg	20kg		12-18kg																							
重量(両端)カフ	なし	あり	あり	あり	重量カフ	なし																					
質量(挿入時)		50kg		80-100kg	4-40kg																						
気管への接続方法	マスク	テューブ接続	テューブ接続	テューブ接続	両端	両端																					
漏気防止	マスク	両端・重量カフ	両端・重量カフ	両端・重量カフ	重量カフ	重量カフ																					
テューブサイズ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>規格</th> <th>8</th> <th>1</th> <th>8</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>14</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイズ指定方法</td> <td>外径</td> <td>外径</td> <td>外径/長さ</td> <td>外径</td> <td>外径</td> <td>外径</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75-185mm</td> <td>120-185mm</td> <td>質量第一挿入</td> <td>127-180mm</td> <td>質量第一挿入</td> <td>質量第一挿入 内径2.6-3.0mm φ.6mm径</td> </tr> </tbody> </table>						規格	8	1	8	2	1	14	サイズ指定方法	外径	外径	外径/長さ	外径	外径	外径		75-185mm	120-185mm	質量第一挿入	127-180mm	質量第一挿入	質量第一挿入 内径2.6-3.0mm φ.6mm径
規格	8	1	8	2	1	14																					
サイズ指定方法	外径	外径	外径/長さ	外径	外径	外径																					
	75-185mm	120-185mm	質量第一挿入	127-180mm	質量第一挿入	質量第一挿入 内径2.6-3.0mm φ.6mm径																					
材質	挿入	○	○	○	○	○																					
	小児	○	○	○(127mm)	○	○																					
	乳幼児	○	○(検査用)	○	○(検査用)	○(検査用)																					

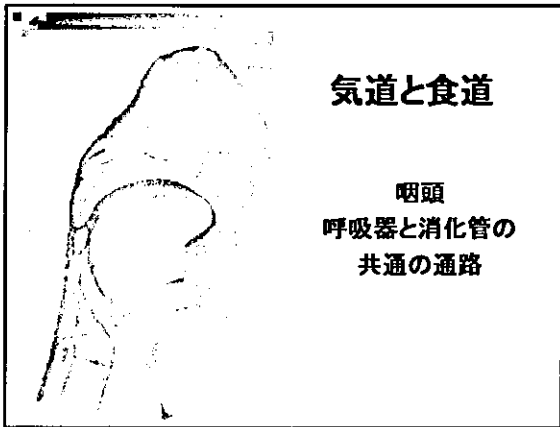
**気管挿管法とその他の
気道確保法**

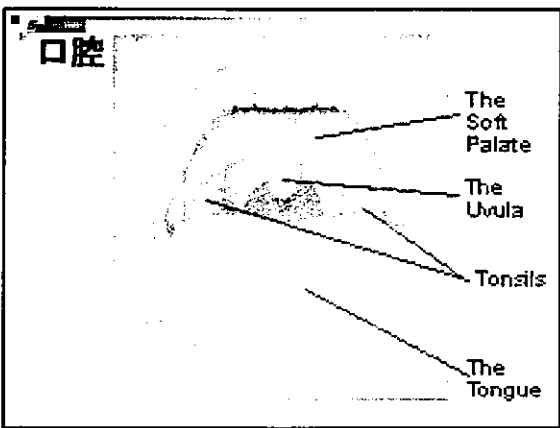
気管挿管追補版テキスト準拠

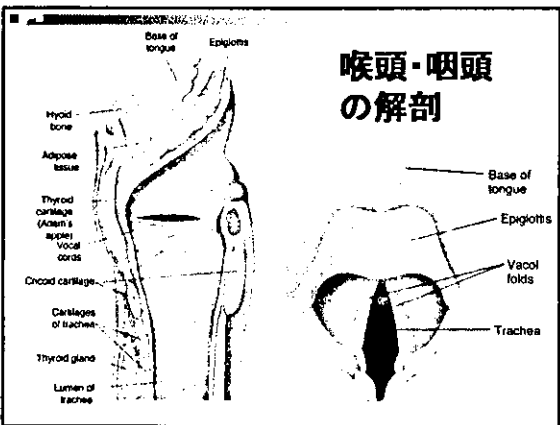
**気管挿管のための
基礎的知識**

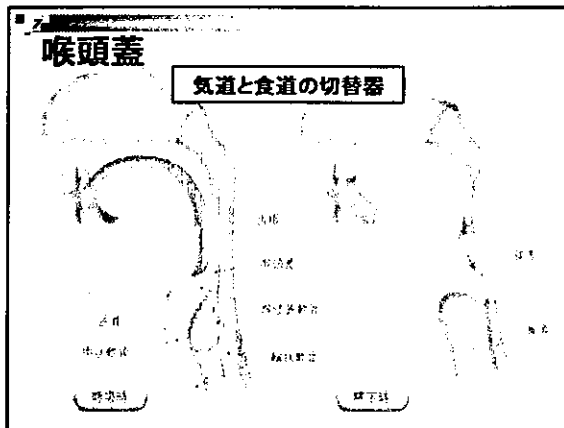
復習

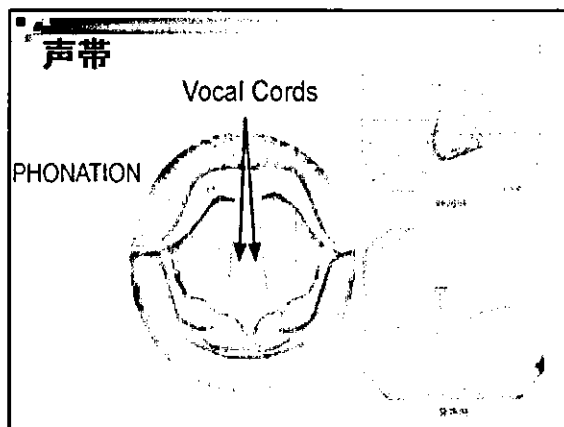


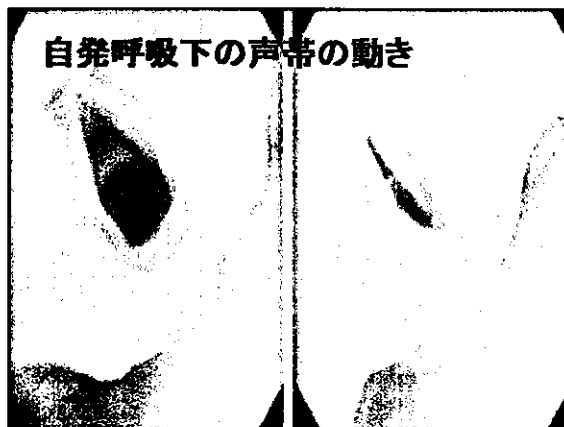










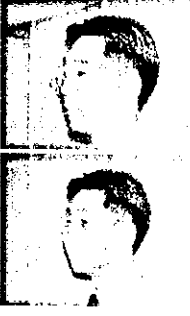


10 気管と食道の特長

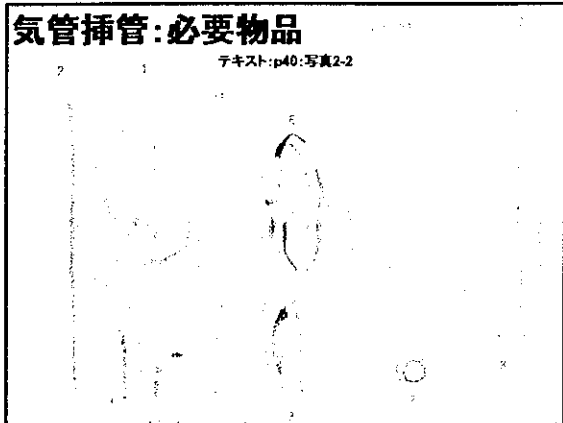
- 気管
 - U字型の軟骨(背側(食道側)が欠損)がある
 - 常に一定の空間を維持している
 - 平均内径:成人16.5mm 新生児5mm
 - 気管挿管チューブ:硬い材質
- 食道
 - 軟骨などの硬い支持組織がない
 - 食物の大きさにどうにでも対応できる
 - 食物が通らない時は、内腔はつぶれている
 - 食道挿入チューブ:軟らかく、先端が鈍な材質

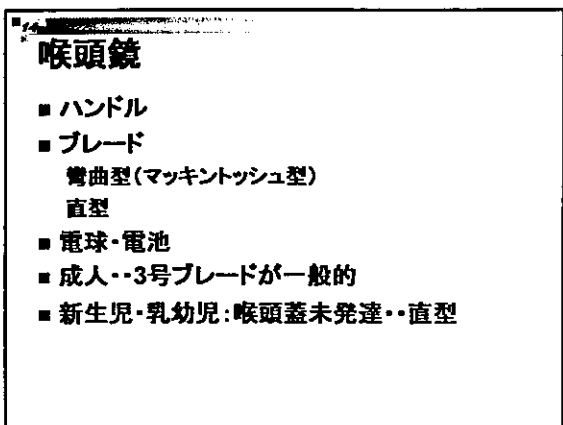
気管挿管に必要な資器材

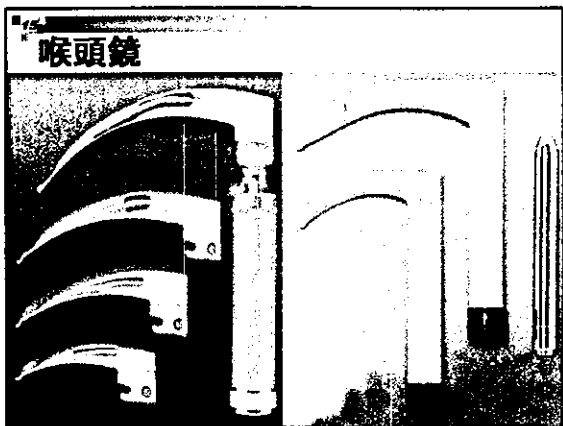
12 感染防御:スタンダードプレコーション

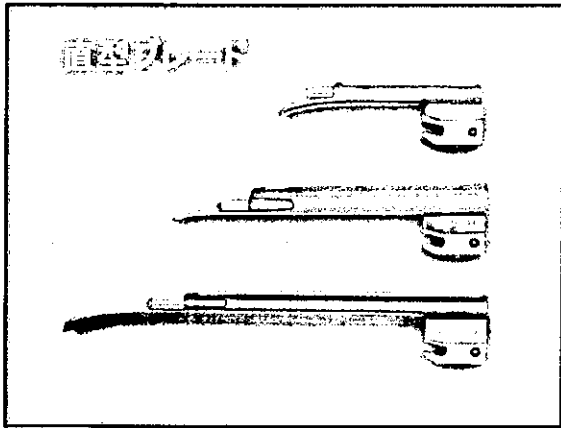


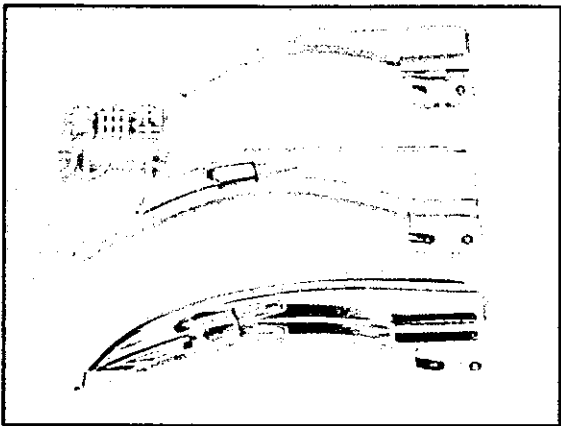
- ゴーグル
- アイガード付マスク
- 感染防止衣
- 手袋等







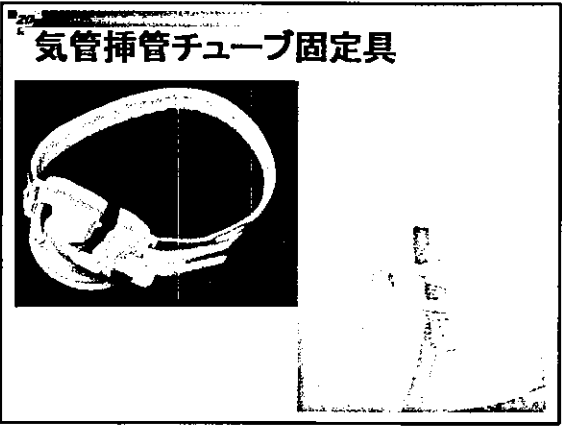


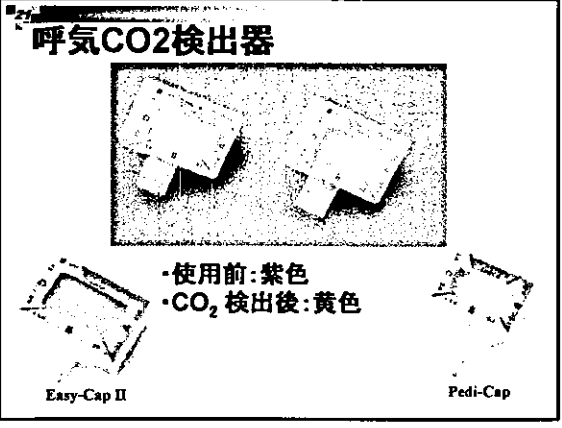


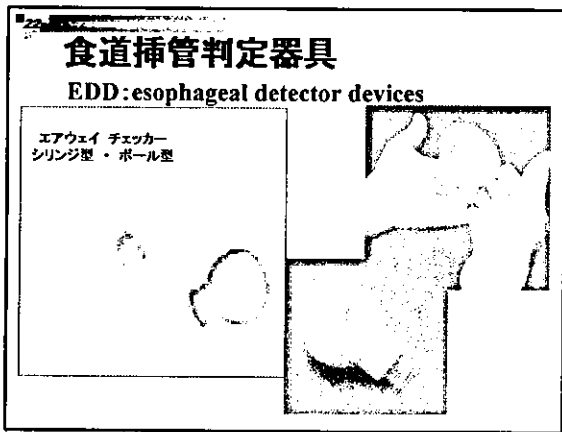
気管チューブ

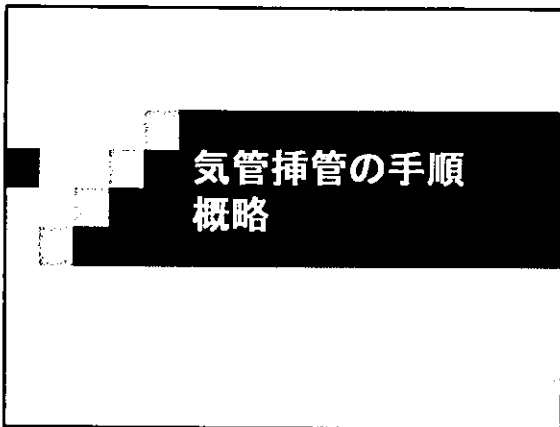
- サイズ
 - 内径(mm)
 - 男性:7~8mm、女性:6.5~7.5mm
- カフ
 - エア・10ml注入
 - 均等に膨らむか、空気漏れはないか
- パイロットバルーン
 - カフにエアを注入すると同時に膨らむか
- 潤滑剤の塗布
 - カフを虚脱させた状態で先端から塗布する

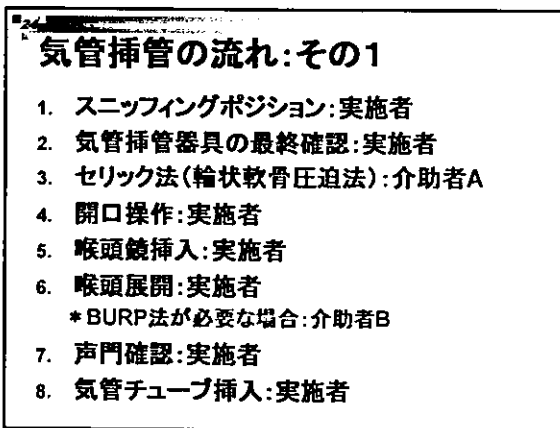












気管挿管の流れ:その2

- 8. 気管チューブ挿入:実施者
- 9. スタイルット抜去:介助者B
気管チューブ保持:実施者
* 介助者A:セリック法継続中
- 10. カフエア注入→深さ確認(門歯):介助者B
バッグ・バルブ装着:実施者
- 11. 一次確認:聴診・送気:実施者
聴診位置の移動:介助者B
- 12. セリック法解除:介助者A

気管挿管の流れ:その3

- 11. 一次確認:聴診・送気:実施者
聴診位置の移動:介助者B
- 12. セリック法解除:介助者A
- 13. 固定具による気管チューブ固定:介助者
* 固定後に再度、聴診
- 14. 二次確認:送気:実施者
器具の装着・操作:介助者

気管挿管の準備

